

1 特別勘定資産残高の状況

(単位:百万円)

区分	平成23年度末	平成24年度末
	金額	金額
個人変額保険	—	—
個人変額年金保険	9,432	7,627
団体年金保険	—	—
特別勘定計	9,432	7,627

2 特別勘定資産の運用の経過

当期の米国債券市場は、期初米国10年国債利回りが2.18%で始まりましたが、欧州債務問題や米中の景気指標の悪化に起因する世界的な景気後退懸念から利回りは低下基調が続き、7月には過去最低の水準となる1.3%台まで利回りは低下しました。その後、9月にECB(欧州中央銀行)による新たな国債買い入れプログラム(OMT: Outright Monetary Transactions)が発表され、欧州債務問題への懸念が和らぎ、利回りを上昇させる要因となる一方で、年末にかけて米国の「財政の崖」への懸念が強まり利回りの低下要因となったことなどから、利回りは1.5%台から1.8%台のボックス圏での一進一退の推移となりましたが、「財政の崖」を回避するための法案が米国議会で可決したことや、FRB(米連邦準備制度理事会)の資産購入プログラムの早期終了予測が台頭したことなどにより利回りは上昇に転じ、3月には一時2%台まで上昇しました。その後、欧州債務危機が再燃したことにより、米国債への「質への逃避」が起こり、利回りが低下、当期末は1.85%で取引を終えました。

米国株式市場は、期初S&P500種指数が1,419.04で始まりましたが、米国内の景気指標の悪化や欧州債務問題への懸念などから下落基調となり、6月には一時1,300ポイントを下回る水準まで下落しました。その後も欧州債務問題に対する不安は根強く残りましたが、欧米における追加金融緩和へ

の期待などが過度な不安の解消につながったことから、S&P500種指数は1,300から1,400ポイントの間で一進一退の動きとなりました。その後、10月に国際通貨基金(IMF)が世界の成長見通しを下方修正したことによる景気の先行き懸念や米国の「財政の崖」への懸念などから、軟調な展開となりましたが、1月に「財政の崖」を回避したことをきっかけに相場は上昇に転じ、住宅や雇用に関する自国の強い経済指標に後押しされ、年度末まで好調に推移しました。その結果、当期末のS&P500種指数は1,569.19で終了しました。

為替市場は、期初1ドル82.19円で始まりましたが、世界経済の減速や欧州の債務問題への懸念を背景に逃避通貨として円が買われ、円高基調が続き、9月には1ドル77円台をつけました。しかし、安倍新政権の発足に伴い金融緩和期待が高まると為替相場は円安基調へと変わり、加えて米国の財政問題改善への期待にも後押しされ、ドル高要因を伴った円安が続きました。その後、イタリア・スペインの政局不安やキプロスの財政問題の発生に伴い、リスク回避の動きから円が買われ円高に振れる場面もありましたが、当期末は1ドル94.05円と期初に比べ大幅な円安水準で取引を終えました。

変額個人年金保険(米国ドル建)の運用にあたっては、資金の流入に合わせ、対象資産に投資する投資信託の組入れ比率を高水準に保つように運用を行っております。

3 個人変額保険(特別勘定)の状況

該当事項はありません。

4 個人変額年金保険(特別勘定)の状況

1 保有契約高

(単位:件、百万円)

区分	平成23年度末		平成24年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	1,702	8,972	1,265	7,014

2 年度末個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

(単位:百万円、%)

区分	平成23年度末		平成24年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	61	0.7	107	1.4
有価証券	9,371	99.3	7,504	98.4
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	9,371	99.3	7,504	98.4
公社債	—	—	—	—
株式等	9,371	99.3	7,504	98.4
その他の証券	—	—	—	—
貸付金	—	—	—	—
その他	0	0.0	15	0.2
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	9,432	100.0	7,627	100.0

3 個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位:百万円)

区分	平成23年度	平成24年度
	金額	金額
利息配当金等収入	187	237
有価証券売却益	2	895
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	580	979
為替差益	27	39
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	—	—
有価証券売却損	10	5
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	—	—
為替差損	27	31
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	—
収支差額	760	2,114

4 個人変額年金保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

1. 売買目的有価証券の評価損益

(単位:百万円)

区分	平成23年度末		平成24年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	9,371	580	7,504	979

(注) 平成23年度末、平成24年度末とも「金銭の信託」は保有していません。

2. 金銭の信託の時価情報

平成23年度末、平成24年度末とも保有していません。

3. 個人変額年金保険特別勘定のデリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用・非適用分の合算値)

平成23年度末、平成24年度末とも保有していません。